



2019年10月18日

各 位

会社名 株式会社エンプラス
 代表者名 代表取締役兼社長執行役員 横田 大輔
 (コード番号 6961 東証第一部)
 問合せ先 取締役兼経営執行役員コーポレートセンター長
 藤田 慈也
 (TEL. 03-6268-0259)

業績予想の修正に関するお知らせ

2019年4月19日に公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)の連結業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 15,200	百万円 800	百万円 800	百万円 560	円銭 44.99
今回発表予想(B)	16,000	1,300	1,300	1,400	113.64
増減額(B-A)	800	500	500	840	
増減率(%)	5.3	62.5	62.5	150.0	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期第2四半期)	16,207	1,345	1,699	1,029	80.49

2. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 32,000	百万円 2,000	百万円 2,000	百万円 1,400	円銭 112.47
今回発表予想(B)	32,000	2,000	2,000	1,800	146.11
増減額(B-A)	0	0	0	400	
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	28.6	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期通期)	31,281	1,735	1,877	332	26.03

3. 連結業績予想の修正の理由

2020年3月期第2四半期連結累計期間は、半導体機器事業におきまして米国、中華圏で各種 IC ソケット、バーンインソケットの販売が好調に推移したことや、当社子会社において訴訟損失引当金戻入を特別利益として計上したことなどにより、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が増加し、第2四半期連結業績予想を上回る見込みです。

また、2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、米中貿易摩擦の激化や日韓の緊張の高まり、英国の EU 離脱問題など世界経済を取り巻く不安定要素が、当社の業績に与える影響が不透明であることから、売上高、営業利益、経常利益は前回の公表数値を据え置くことといたします。親会社株主に帰属する当期純利益については、第2四半期累計期間に発生した特別利益を考慮し、前回公表数値を修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上